

## 令和2年度事業報告

### 【概況】

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により巣ごもり需要は伸びたものの業務加工用の需要は減退し卵価の低迷が続いた。

令和2年11月5日、香川県で初発の高病原性鳥インフルエンザは西日本と関東を中心に爆発的に広がり発生規模は18県52件、987万羽の殺処分となった。

このように令和2年度はコロナ禍による卵価の低迷と高病原性鳥インフルエンザに翻弄された1年であった。

令和2年度からの第4期鶏卵生産者経営安定対策事業について、国庫基金化や需給改善機能に重点を置く事業内容に変更した。

卵価低迷により例年より早いペースで事業を執行した上、成鶏更新・空舎延長事業は2回発動となり、財源が薄くなる中で厳しい事業運営を余儀なくされた。

高病原性鳥インフルエンザの発生により、年度末に家畜防疫互助基金の追加造成を実施した。鳥インフルエンザ経営再建保険の新規加入の勧誘を幅広く行い、また紹介会員に推進費を支給するなど道府県養鶏協会と連携し148の新規会員を得た。

その他に、協会会長の指示により、道府県養鶏協会と連携し会員等へのマスクの無償配布、道府県養鶏協会等が経営継続補助金の支援機関に指定されるように地域と連携し補助事業の仕組み作りを行った。

アニマルウェルフェア（以下、AW）に関して、国際獣疫事務局による採卵鶏のAWコードが令和3年5月末の総会で採択される方向である。そうした中で日本の気候風土や生産体系に合った日本としてのAW指針について引き続き検討に努め、アニマルウェルフェア特別委員会を開催し行政と連携した。

### I 公益目的支出計画に係る実施事業

#### 1. 鶏卵需給動向等の情報提供事業

鶏卵の需給及び価格の安定に資するため、道府県養鶏協会及び地域協議会が行う推進会議、研究大会等の開催の支援等を行った。本協会ホームページ等を活用して、生産者及び消費者等への行政をはじめとする鶏卵の需給・価格動向等に関する情報の提供に努めた。また、本協会会員等に対して「日鶏協ニュース」、「日鶏協回覧板」及び「日鶏協速報」により各種情報を提供した。

#### 2. 国産鶏卵に関する普及啓発事業

鶏卵に関する正確な知識の普及・啓発を推進するため、関係団体等と連携し、ウェブサイト等を活用した情報提供を行った。

また、11月5日の「いいたまごの日イベント」開催により、卵料理への理

解と興味の向上、正しい知識の周知に努めた。

## II 協会の独自事業

### 1. 鶏卵消費拡大推進事業

鶏卵生産者経営安定対策事業への加入生産者の拠出金により鶏卵の消費拡大に取り組むことが事業実施主体の義務として規定されたことを受け、「鶏卵消費拡大推進事業」を創設し、道府県養鶏協会により各地域で開催する講習会・イベント等を通じ、鶏卵の消費拡大に取り組み需給改善を図ることを目的に、対象事業に対し補助を実施した。

### 2. 鳥インフルエンザ経営再建保険事業

令和2年度冬季は、過去に例を見ない高病原性鳥インフルエンザの大量発生となり、当該保険加入者においても、令和2年度（令和2年2月から令和3年1月）が4件、令和3年度（令和3年2月～同3月）が6件発生した。

このような高病原性鳥インフルエンザの多発状況を踏まえ、保険金財源の不足を避け、かつ保険金支払早期化による経営再建の支援と加入者間における公平な保険金支払いの両立を図るため、保険金上限額と期間を2分割することとした。

また、保険に対する会員の要望等を踏まえ、既に保険会社と進めている制度設計の見直しの中で、従来からの自然災害への補償、経営再建を問わない保険支払いに加えて保険規模の拡大が課題として位置付けられ、併せて検討を進めている。

## III 国の制度に基づく事業

### 1. 飼料米生産・利用促進事業

食料自給率の維持向上のため飼料米等の生産拡大を推進する国の方針に基づき、飼料米に関する国の直接支払交付金の算定基礎とするため適用されることとなった農産物検査について、飼料米を利活用した鶏卵の生産拡大に資することを目的に平成26年より登録検査機関として活動を開始し、引き続き全国の農産物検査員による飼料米検査について、活動の支援等を行った。

## IV 補助事業

### 1. 鶏卵生産者経営安定対策事業（農林水産省補助事業）

令和2年度から開始された第4期事業は、毎月の標準取引価格が補填基準価格を下回った場合は、経営規模に拘わらずその差額の9割を補填（補填基準価格と安定基準価格の差額を上限とする。）することとし、成鶏更新・空舎延長事業については奨励金単価の引き上げにより鶏卵の需給改善のための支援の充実が図られた。

①空舎期間60～90日未満：210円/羽（270円/羽→310円/羽）

②空舎期間90～120日未満（新設）：420円/羽（620円/羽）

③食鳥処理場への奨励金：23円/羽→47円/羽

※（ ）内は10万羽未満飼養生産者

さらにこれらの予算が基金化され、鶏卵生産者経営安定対策基金（以下「基金」という。令和2年度当初基金額：5,169百万円）が造成された。また需要に応じた鶏卵の生産・供給を推進するため、鶏卵の需給見通しを作成するなど、事業の仕組みの大幅な見直しが行われ、契約者は735人、契約数量は196万トンとなった。

鶏卵価格差補填事業にあつては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う4月の「緊急事態宣言」以降、業務用・加工用の需要の落ち込みによる価格の低落が続き、標準取引価格は令和2年5月から令和3年2月まで補填基準価格（183円）を下回った。しかしながら、成鶏更新・空舎延長事業の発動や令和2年11月上旬から令和3年3月までの高病原性鳥インフルエンザの継続発生による採卵鶏の殺処分羽数の増加（約900万羽）により2月中旬頃から価格は上昇傾向に転じた。価格差補填は、9月分の補填をもって打ち切りとなり累積単価は、96.211円/kg（前年度は107.937円/kg）、補填総額は152億円（前年度は86億円）程度となり、このうち基金からの支出による補填額は18億円（前年度の補助金による補填額は21億円）程度となった。

令和2年度の成鶏更新・空舎延長事業は、令和2年5月18日に標準取引価格（日ごと）が安定基準価格（161円/kg）を下回り9月23日まで成鶏更新・空舎延長事業を発動した。また、令和3年1月5日から2月3日まで2回目の成鶏更新・空舎延長事業の発動となった。

処理羽数は、1回目が約1,007万羽、2回目が約157万羽、年度合計で約1,164万羽となった。なお、2回目の令和3年4月以降のひな導入分については、原則として令和3年度予算での支出となる。

上記事業については、事業参加者の空舎・再導入状況を確認するため、各県養鶏協会の協力を得て、40生産者について現地調査、指導等を実施し、対象生産者において内容に問題がないことが確認された。

鶏卵の需給見通しについて、検討委員会（2回開催）にて消費・供給動向につき検討・協議し、また本協会加入生産者へのアンケート調査結果に伴う情報等を踏まえ、「鶏卵の需給見通し」を作成し、2回（9月、3月）にわたり加入生産者等に情報提供をおこなった。併せて本協会ホームページにも公表した。

## 2. 家畜防疫互助基金支援事業（農畜産業振興機構補助事業）

事業実施期間（第7期、平成30年度～令和2年度）の最終年として、引き続き新規加入、各種変更等の届け出についての業務を行った。

令和2年度は、冬季の高病原性鳥インフルエンザの大量発生（52例中33件が互助事業加入者）により、当初の基金の不足が見込まれたことから、加入者に対して2月15日付けで追加積立の依頼を行った。追加積立には721件の参加者があり、追加の積立額は5.9億円となり、結果的には第7期中の互助金を賄える見通しとなった。なお、発生が11月以降であったことから令和2年度中の互助金の交付はなく、令和3年度の交付となる。

また、独立行政法人農畜産業振興機構の第8期事業実施主体の公募に対して

応募し、第8期も事業実施主体となった。

### 3. 畜産物輸出支援関連

令和2年度輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業（いわゆるジェットロ事業：協会受託事業）については、香港等において日本産鶏卵に関する小冊子の配布、啓蒙動画のSNS投稿を実施したほか、鶏卵統一マークのマカオでの登録を実施した。一方で、予定した香港での消費者向けセミナーは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

外食産業連携需要拡大対策事業（協会受託事業）については、海外向けにサンドイッチ用厚焼き卵など卵製品の開発を行う予定であったが、事業への公募（4度）に対し、応募がなかったことから事業を廃止した。

### 4. 家きん経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構補助事業）

令和2年度は、非常用電源の導入が、10集団34件において、48台、事業費約2億7,570万円、補助金約1億2,530万円であった。非常用発電機のリース料の軽減は、2団体5件において、13台、事業費約7,150万円、補助金約3,250万円であった。

また、令和2年度に、令和2年度冬期の大雪ならびに令和3年福島県沖を震源とする地震での被害が追加され、22件の参加希望があった。

## V 各種協議会の事務局活動

### 1. 鶏卵公正取引協議会

当協議会は、消費者庁及び公正取引委員会により認定された「鶏卵の表示に関する公正競争規約」に基づき運営されている。

本協会は当協議会から事務を委託されており、協議会事務局として、会員証紙審査委員会と連動し、公正マーク認可申請商品の審査を行った。

また、公正マークの一般消費者に対する認知・理解促進を図るため2回に分けて公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーンを実施し、3万人強の応募を得た。

また、会員及び会員外の事業者等からの表示に関する相談、助言等の対応を行うとともに、表示に関して留意する点などを日鶏協ニュース及び協議会HPに掲載すること等により情報提供を行い、適正な鶏卵表示の推進に努めた。

### 2. 中央鶏卵規格取引協議会

当協議会は、昭和46年農林水産省事務次官通達「鶏卵規格取引要綱」により、鶏卵の規格取引を推進するために設置されたものである。

本協会は当協議会から事務を委託されている。

今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年実施している「鶏卵規格取引研修会」及び「割卵検査」の開催ができなかった。

研修会中止に伴い、「卵重計量責任者」資格取得を希望される対象者に対し、通信研修会を実施し、9名が受講し、通信研修修了証書の発行を行った。

### 3. 畜産物輸出促進協議会・鶏卵輸出部会

産地緊急対策事業（輸出部会受託事業）については、鶏卵輸出のための非破壊鮮度検査法の開発と装置の実用化について、京都女子大学と委託契約を結び、実施した。また、米国本土への空輸の際の温度確保・破損防止に向けたトライアルを実施した。

残留物質等モニタリング検査支援事業（輸出部会受託事業）については、輸出部会会員2社の協力を得て、EU向け卵及び卵製品輸出を可能とするためのEU標準に沿った卵の残留物質検査について、日本食品分析センターに依頼、実施した。

## VI 他団体活動への協力

国際養鶏養豚総合展（IPPS、（公社）中央畜産会が事務局）、（公社）畜産技術協会、（一社）日本食鳥協会、（一社）日本養豚協会等が実施する事業等に関して委員会等に委員等として参加し、事業運営に協力した。

## VII その他の課題

### 1. 会員の増加及び地方組織との連携

鶏卵生産者及び関係団体等を会員とする全国組織として、令和2年度は会員的大幅な増強を図ることができた。本協会事業推進の中核である道府県養鶏協会及び地域協議会と情報共有し、マスクの無償配布や会員の増強など様々な形で地方組織との連携を進めた。

### 2. 国際競争力の強化

我が国における鶏卵生産の低コスト化の障害となっている資材の内外価格差・法制度上の問題等諸課題への対応を進めることは、養鶏産業の基盤を維持し96%の国内自給率を維持するため重要である。

低コスト化の対応として、農林水産省が主催する新たな畜舎建築基準等のあり方に関する検討会に積極的に参加し、令和2年5月に「中間取りまとめ」として取り纏められ、令和3年3月に「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律案」として国会に提出された。

### 3. 鳥インフルエンザ対策

令和2年11月5日に香川県を皮切りに発生した高病原性鳥インフルエンザは、西日本、関東を中心に過去類を見ない甚大な被害をもたらし、令和3年4月時点で発生件数は52件で約987万羽（うち採卵鶏904万羽）が殺処分された。

リスク管理規程に基づき、11月4日に会長を本部長、鳥インフルエンザ問題対策委員長を副本部長とする高病原性鳥インフルエンザ対策本部を立ち上げた。

直ちに土日祝日を含む24時間対応体制を構築するとともに、土日祝日の生産者の問い合わせ等に対応するため専用電話回線（携帯電話）を設けた。

本協会会員に対して、事案の発生の都度、「日鶏協速報」や「日鶏協ニュース」等を通じ各種情報を提供するとともに、会員生産者等の飼養衛生管理基準の遵守状況と焼埋却の現状に関する調査結果を日鶏協ニュースで広く周知した。

本協会は、農林水産省と連携して防疫対策の周知・徹底に努めるとともに、同省に対しては迅速な防疫体制等を求める要請書を提出した。

#### 4. アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理

英国及び北ヨーロッパでは、エンリッチドケージ飼育が平飼い飼育に移行しつつある。米国においてもケージフリーが進んでいる。

欧米のこのような動きは、我が国の鶏卵産業にも及ぶことから、情報の収集に努めつつ、日本の気候風土や生産体系に合った日本としてのAW指針について令和元年度から引き続き検討するとともに、アニマルウェルフェア特別委員会を開催して本協会が行政と連携した。

またアニマルウェルフェアに関する生産者アンケート調査結果を取りまとめ「鶏病研究会報」に論文として投稿した。

#### 5. 業界要望の集約と積極的な要請

長期的な視野に立って安定した鶏卵生産を図るためには、生産者自らの努力もさることながら、鶏卵生産の特性を考慮した政策・施策の実現を図ることが重要である。

令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大による低卵価については、生産者団体として、国に対して積極的に鶏卵産業の実情を訴えるとともに、現在実施中の事業の充実のみならず、鶏卵生産者の資金繰り対策について国・行政の理解と支援を求め強く訴えた。

今シーズンの高病原性鳥インフルエンザの未曾有の発生については、国に対して迅速な防疫体制等を求める要請書を提出した。高病原性鳥インフルエンザウイルスが変異していることも考えられることから、今後の発生に備えて今回の発生を踏まえた更なる疫学調査を進め結果としての適正な防疫措置を示せるよう国に対して要請した。

## 【協会の活動】

### 1. 会員の異動

#### (1) 会費会員

|               | 期 初 | 加入等 | 脱 会 | 期 末 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|
| イ（個人、法人）      | 513 | 148 | 25  | 636 |
| ロ（道府県協会）      | 44  | 0   | 0   | 44  |
| ハ（全国団体）       | 3   | 0   | 0   | 3   |
| ニ（その他の養鶏関係団体） | 1   | 0   | 0   | 1   |
| ホ（その他の団体）     | 3   | 0   | 0   | 3   |
| 計             | 564 | 148 | 25  | 687 |

#### (2) 入会預り金会員

|                | 期 初 | 加入等 | 脱 会 | 期 末 |
|----------------|-----|-----|-----|-----|
| イ（経済連・農業協同組合等） | 22  | 0   | 0   | 22  |
| ロ（都道府県）        | 47  | 0   | 0   | 47  |
| ハ（（独）農畜産業振興機構） | 1   | 0   | 0   | 1   |
| ニ（その他の団体）      | 3   | 0   | 0   | 3   |
| 計              | 73  | 0   | 0   | 73  |

(注) 入会預り金会員の名簿及び入会預り金額は別表のとおりである。

### 2. 総会

#### 定時総会

令和2年6月24日 東京都千代田区大手町1-7-2 大手町サンケイプラザ 3階において第71回定時総会を開催し、次の議案を可決した。

- (1) 令和元年度事業報告（報告事項）
- (2) 令和2年度事業計画及び収支予算（報告事項）
- (3) 令和元年度計画書類等に関する件  
(公益目的支出計画実施報告を含む。)
- (4) 令和2年度会費の賦課及び徴収方法に関する件
- (5) 理事1名の選任に関する件

#### 臨時総会

令和2年12月17日 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館5階において令和2年度臨時総会を開催し、次の議案を可決した。

- (1) 一般社団法人日本養鶏協会役員選任会規の一部改定に関する件

### 3. 理事会

協会事業推進のため、次により理事会を開催した。

## 第1回

令和2年4月14日 書面理事会

- ① 家きん経営災害緊急支援対策事業実施要領の一部改正について
- ② 家畜防疫互助基金支援事業業務方法書の一部改正について

## 第2回

令和2年4月28日 書面理事会

- ① 新型コロナウイルス感染症の発生農場等における経営継続対策事業への受託について
- ② 情報管理にかかる対応について

## 第3回

令和2年6月3日 書面理事会

### (1) 報告事項

- ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、審議委員会）
- ② 需給見通し検討委員会等について
- ③ 第3回新たな畜舎建築基準等のあり方に関する検討委員会における中間とりまとめについて

### (2) 協議事項

- ① 令和元年度事業報告及び計算書類等について
- ② 令和元年度公益目的支出計画実施報告書等の提出について
- ③ 令和2年度会費の賦課及び徴収方法について
- ④ 理事候補者1名について
- ⑤ 第71回定時総会の招集の決定について
- ⑥ 西川顧問の中央畜産会理事への推薦について
- ⑦ 鶏卵生産者経営安定対策事業業務委託要領の改正について
- ⑧ 鶏卵生産者経営安定対策事業に関する手数料規程の改正について
- ⑨ 鶏卵消費拡大推進事業実施要領の制定について
- ⑩ 鶏卵消費拡大推進事業拠出金規程の制定について
- ⑪ 情報提供体制強化事業実施要領の改正について
- ⑫ イベント等開催事業実施要領の改正について
- ⑬ 職員就業規則等の改正並びにテレワーク就業規程の制定について
- ⑭ 廃業した加入生産者に係る負担金の返還並びに支払準備金の取り崩しについて

## 第4回

令和2年6月18日 書面理事会

- ① 令和元年度鶏卵生産者経営安定対策事業における販売実績数量に関し誤報告のあった事案の対応について
- ② 廃業した加入生産者に係る負担金（積立金及び協力金）の返還及び支払準備金の取り崩しについて
- ③ 新規会員の承認について



## 第5回

令和2年9月1日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

### (1) 報告事項

- ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、審議委員会）
- ② 第1回鶏卵需給見通し検討委員会報告
- ③ 価格差補填金、奨励金の交付状況並びに交付財源の見通しについて

### (2) 協議事項

- ① 鶏卵生産者経営安定対策事業の今後の運営方針について
- ② 審議委員会の運営規程の改定について
- ③ 職員就業規則の改定について
- ④ その他

## 第6回

令和2年10月21日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### (1) 報告事項

- ① 令和3年度予算要請及び農林水産予算概算要求について
- ② 令和2年度代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ③ 令和2年度会費納入状況について
- ④ 情報管理にかかる対応結果等について
- ⑤ インパックラベル情報提供活動報告
- ⑥ 令和3年鳥インフルエンザ経営再建保険の募集について
- ⑦ 令和2年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- ⑧ 令和2年度価格差補填金の交付状況について

### (2) 協議事項

- ① 鶏卵生産者経営安定対策事業の今後の運営方針について
- ② 成鶏更新・空舎延長事業における台風10号の被害を踏まえたひな再導入にかかる取扱いについて
- ③ 廃業した加入生産者に係る負担金（積立金及び協力金）の返還及び支払準備金の取り崩しについて
- ④ 家さん経営災害緊急支援対策事業実施要領の一部改正について
- ⑤ 令和2年度第2次農林水産関係補正予算事業「農林漁業者のための経営継続補助金」支援機関に対する協力金の支払いについて

## 第7回

令和2年11月18日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### (1) 報告事項

- ① 委員会報告（審議委員会、鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、鳥インフルエンザ問題対策委員会、アニマルウェルフェア特別委員会）
- ② 高病原性鳥インフルエンザの発生等について

- ③ 令和2年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- ④ 令和2年度価格差補填金、奨励金の交付状況について
- ⑤ 令和3年度鶏卵価格差補填等年次契約の締結等スケジュール

(2) 協議事項

- ① 鶏卵生産者経営安定対策事業の今後の運営方針について
- ② 役員選任会規の一部改定について
- ③ 令和2年度臨時総会招集通知の発出について
- ④ 事務局組織規程の改定について
- ⑤ 内部通報窓口の設置について
- ⑥ 被災した加入生産者に係る負担金の返還及び支払準備金の取り崩しについて
- ⑦ 新規会員の承認について
- ⑧ 新規会員紹介にかかる推進費の支払について
- ⑨ (一社)日本養鶏協会名での論文形式にて対外投稿について

第8回

令和2年12月16日 書面理事会

- ① 高病原性鳥インフルエンザが発生した加入生産者に係る負担金の返還及び支払準備金の取り崩しについて
- ② 新規会員の承認について

第9回

令和2年12月23日 書面理事会

- ① 高病原性鳥インフルエンザが発生した加入生産者に係る負担金の返還及び支払準備金の取り崩しについて(2回目)
- ② 新規会員の承認について(2回目)

第10回

令和3年1月20日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

(1) 報告事項

- ① 委員会報告(組織改革委員会、鳥インフルエンザ問題対策委員会、鶏卵生産者経営安定対策事業委員会)
- ② 令和2年度価格差補填金、奨励金の交付状況について
- ③ 令和2年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- ④ 令和3年度鳥インフルエンザ経営再建保険の募集状況について
- ⑤ 報道について

(2) 協議事項

- ① 役員選任規程の改定について
- ② 鶏卵生産者経営安定対策事業の今後の運営方針について
- ③ 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業への応募について
- ④ 令和2年度第4四半期負担金未納者の契約解除について
- ⑤ 令和2年度鶏卵販売実績報告書等の確認調査結果と対応等について

て

- ⑥ 高病原性鳥インフルエンザが発生した加入生産者に係る負担金の返還及び支払準備金の取り崩しについて（3回目）
- ⑦ 家畜防疫互助事業の生産者基金への追加造成について
- ⑧ 鳥インフルエンザ対策に関する国への要請について
- ⑨ 新規会員の承認について（3回目）
- ⑩ 有識者会議の解消並びに有識者運営規程の廃止について

## 第11回

令和3年2月18日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### （1）報告事項

- ① 委員会報告（鳥インフルエンザ問題対策委員会、鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、国産鶏卵に関する普及啓発問題検討委員会）
- ② 令和2年度第2回成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- ③ 鳥インフルエンザ発生下における家畜防疫互助基金支援事業等の状況について
- ④ 令和2年度価格差補填金交付状況（9月追加補填1回目）について
- ⑤ 令和3年度予算案の編成について
- ⑥ 令和2年度会員の異動と会費の収納状況について

### （2）協議事項

- ① 令和3年度役員選任に関する理事会決議事項について
- ② 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の積立金、協力金、手数料及び拠出金等の単価について  
（入会預り金特定資産の取崩しを含む）
- ③ 令和3年度入会預り金特定資産・業務管理特定資産の再運用について
- ④ 第8期家畜防疫互助基金支援事業 事業実施主体への応募について
- ⑤ 第5期家畜防疫互助基金支援事業にかかる未返還積立金の取扱について
- ⑥ 高病原性鳥インフルエンザが発生した加入生産者に係る負担金の返還及び支払準備金の取り崩しについて（4回目）

## 第12回

令和3年3月10日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

### （1）報告事項

- ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、審議委員会）
- ② 第2回鶏卵の需給見通しに関する検討委員会について

### （2）協議事項

- ① 鶏卵生産者経営安定対策事業における3月交付について  
（補填金・協力金）
- ② 成鶏更新・空舎延長事業におけるひな再導入の特例申請について
- ③ 第7期家畜防疫互助基金支援事業追加造成に係る業務方法書の一

部改正及び手数料について

- ④ 家きん経営災害緊急支援対策事業実施要領の改正について
- ⑤ 令和3年鳥インフルエンザ経営再建保険の内払いについて

#### 第13回

令和3年3月10日 書面理事会

- ① 高病原性鳥インフルエンザが発生した加入生産者に係る負担金（積立金及び協力金）の返還及び支払準備金の取崩しについて（5回目）

#### 第14回

令和3年3月30日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

##### （1）報告事項

- ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、審議委員会）
- ② 第4期鶏卵生産者経営安定対策事業及び第8期家畜防疫互助基金支援事業の受託について
- ③ 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業 契約状況（速報）
- ④ 第7期家畜防疫互助基金支援事業の状況について
- ⑤ 鶏卵輸出支援事業の状況について
- ⑥ 代表理事及び業務執行理事の職務遂行状況報告について

##### （2）協議事項

- ① 令和3年度事業計画書及び収支予算書について
- ② 職員就業規則等の改定について
- ③ 職員旅費規程の改定について
- ④ 情報提供体制強化事業実施要領等の改定について
- ⑤ 鶏卵生産者経営安定対策事業業務方法書等の改正について
- ⑥ 家きん経営災害緊急支援対策事業実施要領の改正について
- ⑦ 令和3年度役員賠償責任保険の加入について
- ⑧ 令和3年度1kg当たり別途納付金の額について

#### 4. 正副会長会議

緊急かつ重要な課題に対処するため、次により正副会長会議を開催した。

##### 第1回

令和2年4月20日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- （1）新型コロナウイルス感染症の発生農場等における経営継続対策事業への受託について
- （2）情報管理にかかる対応について
- （3）その他

##### 第2回

令和2年5月28日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- （1）第3回理事会（書面審議）議題について
- （2）その他

### 第3回

令和2年6月24日 東京都 大手町サンケイプラザ

- (1) 事務局運営における人員対応について
- (2) 鶏生体輸送容器にかかる委託調査プランについて
- (3) 令和2年度第2次補正予算事業「経営継続補助金」にかかる対応方針について
- (4) 鶏卵生産者経営安定対策事業における負担金・補填金等の徴収・支払い業務の業務委託対象追加方針について
- (5) その他

### 第4回

令和2年7月17日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 鶏卵生産者経営安定対策事業における補填等の交付財源にかかる問題意識の共有について
- (2) その他

### 第5回

令和2年11月25日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 有識者会議の解消について

### 第6回

令和3年1月15日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第10回理事会議題について
- (2) その他

### 第7回

令和3年2月18日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

- (1) 第11回理事会議題について
- (2) その他

### 第8回

令和3年3月26日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

- (1) 第14回理事会議題について
- (2) その他

## 5. 監事監査等

令和2年5月22日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

令和2年度事業報告及び計算書類等についての監査

## 6. 審議委員会

鶏卵生産者経営安定対策事業に関する調査審議のため、次により審議委員会を開催した。

### 第1回

令和2年5月26日 書面審議

- (1) 報告事項
  - ① 令和元年度鶏卵生産者経営安定対策事業の手数料の収支状況及び特定資産の推移について

(2) 協議事項

- ① 鶏卵生産者経営安定対策事業に関する手数料規程の改正について
- ② 鶏卵消費拡大推進事業拠出金規程の制定について

第2回

令和2年8月25日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

(1) 報告事項

- ① 第1回鶏卵需給見通し検討委員会報告
- ② 価格差補填金、奨励金の交付状況並びに交付財源の見通しについて

(2) 協議事項

- ① 鶏卵生産者経営安定対策事業の今後の運営方針について
- ② 審議委員会の運営規程の改定

第3回

令和3年2月18日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

- (1) 令和2年度第2回成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- (2) 令和2年度価格差補填金交付状況（9月追加補填1回目）について
- (3) 令和2年度業務管理特定資産の推移について
- (4) 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業積立金、協力金、手数料及び拠出金等の単価について  
(入会預り金特定資産の取崩しを含む)
- (5) 令和3年度業務管理特定資産の取り崩しについて
- (6) 令和3年度入会預り金特定資産・業務管理特定資産の再運用について

第4回

令和3年3月10日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

- (1) 鶏卵生産者経営安定対策事業における3月交付について  
(補填金・協力金)
- (2) 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の収支予算について
- (3) 成鶏更新・空舎延長事業におけるひな再導入の特例申請について

## 7. 専門委員会

(1) 鶏卵生産者経営安定対策事業委員会

第1回

令和2年5月26日 書面審議

報告事項

- 1) 令和元年度鶏卵生産者経営安定対策事業の手数料の収支状況について

協議事項

- 1) 鶏卵生産者経営安定対策事業に関する手数料規程の改正について
- 2) 鶏卵消費拡大推進事業拠出金規程の制定について

第2回

令和2年8月25日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

報告事項

- 1) 第1回鶏卵需給見通し検討委員会報告
- 2) 価格差補填金、奨励金の交付状況並びに交付財源の見通しについて

協議事項

- 1) 鶏卵生産者経営安定対策事業の今後の運営方針について

第3回

令和2年10月21日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- 1) 令和3年度予算要請及び農林水産予算概算要求について
- 2) 令和2年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- 3) 令和2年度価格差補填金の交付状況について

協議事項

- 1) 鶏卵生産者経営安定対策事業の今後の運営方針について
- 2) その他

第4回

令和2年11月18日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- 1) 令和2年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- 2) 令和2年度鶏卵価格差補填金、奨励金の交付状況について
- 3) 令和3年度鶏卵価格差補填等年次契約の締結等スケジュール

協議事項

- 1) 鶏卵生産者経営安定対策事業の今後の運営方針について
- 2) その他

第5回

令和3年1月20日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

報告事項

- 1) 令和2年度価格差補填金、奨励金の交付状況について
- 2) 令和2年度成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- 3) 令和2年度成鶏更新・空舎延長事業現地調査の実施状況について

協議事項

- 1) 鶏卵生産者経営安定対策事業の今後の運営方針について
- 2) 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業への応募について
- 3) 令和2年度鶏卵販売実績報告書等の確認調査結果と対応等について
- 4) 令和2年度第4四半期負担金未納者の契約解除について

第6回

令和3年2月18日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

協議事項

- 1) 令和2年度第2回成鶏更新・空舎延長事業実施状況について
- 2) 令和2年度価格差補填金交付状況（9月追加補填1回目）について

- 3) 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業積立金、協力金、手数料及び拠出金等の単価について  
(入会預り金特定資産の取崩しを含む)

#### 第7回

令和3年3月10日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室  
協議事項

- 1) 令和2年度第2回鶏卵の需給見通しに関する検討委員会について
- 2) 鶏卵生産者経営安定対策事業における3月交付について  
(補填金・協力金)
- 3) 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の収支予算について
- 4) 成鶏更新・空舎延長事業におけるひな再導入の特例申請について

### (2) 鳥インフルエンザ問題対策委員会

#### 第1回

令和2年10月21日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室  
協議事項

- 1) 鳥インフルエンザ経営再建保険の対応及び募集について
- 2) 鳥インフルエンザ発生時の対応態勢について
- 3) その他

#### 第2回

令和2年11月17日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室  
協議事項

- 1) 香川県の鳥インフルエンザ発生事案を受けて鶏卵生産者の懸念・意見及び要望等について
- 2) その他

#### 第3回

令和3年1月15日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室  
協議事項

- 1) 鳥インフルエンザ経営再建保険募集状況について
- 2) 第8期家畜防疫互助基金支援事業の応募スケジュールについて
- 3) 第7期家畜防疫互助基金支援事業の追加造成について
- 4) 国への要望書について
- 5) その他

#### 第4回

令和3年3月30日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室  
協議事項

- 1) 令和2年度の高病原性鳥インフルエンザの発生状況
- 2) 令和3年鳥インフルエンザ経営再建保険の内払いについて
- 3) 家畜防疫互助基金支援事業の最近の動きについて



(第7期、追加造成、第8期)

- 4) 日本養鶏協会が実施した飼養衛生管理基準の自己点検結果について
- 5) 今シーズンの(高病原性鳥インフルエンザウイルス)の遺伝子解析の結果について
- 6) 農林水産省への要望書について

(3) アニマルウェルフェア特別委員会

第1回

令和2年10月21日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室  
協議事項

- 1) AWに関する協会等の活動経緯について
- 2) 日本型AW基準の骨子について
- 3) その他

(4) 組織改革委員会

第1回

令和3年1月15日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室  
協議事項

- 1) 役員選任規程の改定について
- 2) その他

8. 各種事業

(1) 鶏卵需給動向等の情報提供事業

① 例年は、本会事業推進の中核である道府県養鶏協会及び地域協議会による総会、研究大会、展示会への出展等行われ、これらに対して支援を行っているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、活動については当初予定事業を変更したものや、事業中止となった事例が多かった。

5地域協議会のうち事業を実施できたのは、中部地域協議会と九州地域協議会で、その活動内容は以下の通りである。

[開催日]

[実施内容]

中部地域協議会

令和2年 7月 3日

中部地域協議会通常総会

(経営安定対策事業・畜産クラスターの勉強会)

九州地域協議会

令和2年 7月 3日

取組み検討会議の実施

令和2年 8月11日～12月11日 鶏卵勉強会の実施(計8か所)

4道府県養鶏協会では実施した協会が31協会、未実施が13協会であった。

活動内容としては、コロナ禍を踏まえ、資料・パンフレット類を作成し配布する例が多かった。

また、奈良県畜産農業組合では、オンライン方式でのHACCP等の勉強会を開催し、沖縄県養鶏協会では、ラジオCMを実施するなど、コロナ禍対応も含めた活動が実施された。

## ② 生産者、消費者等への鶏卵の需給・価格動向等に関する情報の提供

鶏卵の需給、価格動向等の養鶏関連情報を20回FAX等により送付するとともに、「日鶏協ニュース」（速報版ニュースも含め13回）、「日鶏協回覧板」（11回）、「日鶏協速報」では高病原性鳥インフルエンザの発生と注意喚起等（37回）により各種情報をFAX等により送付（送付先は会員及びその他の希望者で約700ヶ所）した。また、本協会ホームページの鶏卵の需給・価格等に関する統計を毎月、更新等を行った。

## (2) 国産鶏卵に関する普及啓発事業

### ① 鶏卵に関する普及・啓発イベントの実施

1月5日（木）に東京・板橋の東京家政大学で「いいたまごの日」イベントを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、参加者が一堂に会さず各地を映像により結ぶリモート開催形式にて実施し、6組の高校生による「たまごニコニコ料理甲子園」、料理研究家による実演・講演の2部形式により実施した。

### ② ウェブサイトを通じた養鶏情報の提供

本協会ホームページを通じて「鳥インフルエンザ、抗生物質」に関する正しい情報を提供する消費者向け普及啓発資料のデータを提供した。また、各種イベントの開催状況を紹介するビデオを掲載した。さらに、鶏卵のコレステロールに対する誤解解消、賞味期限に関する普及啓発記事、卵料理レシピ等を広報した。

### ③ 鶏卵等に関する相談の受付

鶏卵の品質・取扱い方法・表示内容等について、ウェブサイト・電話を通じた相談を通年受付けており、100件を超える相談を受けている。また、本協会ホームページに「にわとりとたまごの質問コーナー」を設けており、「よくある質問」を掲載している。

### ④ 鶏卵についての正しい認識を涵養する資料の配布

鶏卵とコレステロールに関する誤解解消、鶏卵を利用するメニューの紹介等を内容とするリーフレットを、全国各地のイベント会場等で配布して活用を促した。

### ⑤ インパックラベル活用による消費者への情報提供活動

鶏卵関係企業・団体と協力し、消費者へ鶏卵の正しい知識を普及する取り組みとして、鶏卵に関する正しい情報を掲載するWebアドレスを掲載したインパックラベルを鶏卵パックに封入し、消費者をホームページに誘導する取り組みを実施した。

1月末より実施し、ラベル約1,500万枚封入に対し約45万人のWe

b 閲覧実績があった。また併せて実施したアンケート調査には、約35万件の回答があった。

⑥ 国産鶏卵に関する普及啓発問題検討委員会の開催

委員12名により構成される本委員会を、1月に馬事畜産会館において開催し、いいたまごの日イベント、インパクラベル活用による情報提供の取り組みなど、鶏卵に関する普及啓発活動の企画・立案・実施について検討した。なお、現下の情勢に鑑み、事務局以外全委員リモート参加形式にて実施した。

(3) 鶏卵生産者経営安定対策事業（農林水産省補助事業）

令和2年度鶏卵生産者経営安定対策事業（予算額52億円）の事業実施主体の公募が行われ、本会が引続き応募し事業実施主体となった。

① 鶏卵価格差補填事業

- ア) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言後、業務用・加工用での需要の落ち込み等により、令和2年5月から令和3年2月まで、標準取引価格が補填基準価格を下回る低卵価が続いた。令和2年度の月別標準取引価格及び補填価格は、表1のとおり。
- イ) また、積立金の造成額、補填金交付額及び鶏卵生産者経営安定対策基金の状況は、表2のとおり。

表1 月別標準取引価格及び補填価格

(単位：円/kg)

| 年 月      | 標準取引価格   | 補填価格            |
|----------|----------|-----------------|
| 令和2年 4月  | 198.93 円 | 0.000円          |
| 令和2年 5月  | 163.31 円 | 17.721円         |
| 令和2年 6月  | 156.16 円 | 19.800円         |
| 令和2年 7月  | 152.05 円 | 19.800円         |
| 令和2年 8月  | 149.46 円 | 19.800円         |
| 令和2年 9月  | 159.08 円 | 19.090円(19.800) |
| 令和2年 10月 | 169.58 円 | 0.000円(12.078)  |
| 令和2年 11月 | 174.18 円 | 0.000円( 7.938)  |
| 令和2年 12月 | 182.48 円 | 0.000円( 0.468)  |
| 令和3年 1月  | 135.34 円 | 0.000円(19.800)  |
| 令和3年 2月  | 182.83 円 | 0.000円( 0.153)  |
| 令和3年 3月  | 218.07 円 | 0.000 円         |

(注1)補填基準価格：183円/kg 安定基準価格：161円/kg

(注2)9月の補填は、当初3,000円を交付し、1月末に9,479円、3月末に6,611円を追加補填した。

表2 積立金の造成額・当期の増減額及び補填金交付額

鶏卵価格差補填事業 (単位：円)

| 区 分                      | 積立金            | 基金            | 補填金交付額         |
|--------------------------|----------------|---------------|----------------|
| ① 前年度繰越額                 | 4,992,060,512  |               |                |
| ② 積立金造成額                 | 8,931,419,516  |               |                |
| ③ 補填金交付額                 | 13,396,807,102 | 1,802,626,595 | 15,199,433,697 |
| ④ 繰出し(積立金から協力金へ)         | 393,000,000    |               |                |
| ⑤ 返還額(廃業等)               | 71,972,245     |               |                |
| ⑥ 次年度繰越額<br>(=①+②-③-④-⑤) | 61,700,681     |               |                |

(注) ④は業務方法書第2の2の(9)アのcの規定に基づくもの。

鶏卵生産者経営安定対策基金の状況 (単位：円)

| 区 分              | 基金            |
|------------------|---------------|
| ⑦ 当初基金額(国からの交付額) | 5,168,539,000 |
| ⑧ 年度内支出額(補填金交付)  | 1,802,626,595 |
| ⑨ 年度内支出額(奨励金交付等) | 3,356,972,922 |
| ⑩ 期末基金額(=⑦-⑧-⑨)  | 8,939,483     |

(注) 奨励金交付等には事業推進事務費(951,396円)を含む。

② 成鶏更新・空舎延長事業

ア) 成鶏更新・空舎延長事業について、令和2年度は、1回目が令和2年5月18日発動、令和2年9月23日終了、2回目が令和3年1月5日発動、令和3年2月3日終了となった。なお、2回目のうち令和3年4月以降のひな導入については、原則として令和3年度予算での支出となる。

イ) 奨励金の交付状況は、表3のとおり。

表3 奨励金の交付状況

(単位：戸、羽、円)

| 区 分            |             | 10万羽以上生産者      | 10万羽未満生産者      | 計              |
|----------------|-------------|----------------|----------------|----------------|
| 参加<br>生産<br>者数 | 令和2年度第1回    | 123            | 155            | 278            |
|                | 令和2年度第2回    | 33             | 47             | 80             |
|                | 計           | (127)<br>延 156 | (170)<br>延 202 | (297)<br>延 358 |
| 処理<br>加工<br>羽数 | 令和2年度第1回    | 7,796,425      | 2,275,225      | 10,071,650     |
|                | 空舎期間 60-89  | 3,897,480      | 1,251,089      | 5,148,569      |
|                | 空舎期間 90-119 | 3,898,945      | 1,024,136      | 4,923,081      |

|                   |             |                                  |                                |                                  |
|-------------------|-------------|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
|                   | 令和2年度第2回    | 1,050,071                        | 527,147                        | 1,577,218                        |
|                   | 空舎期間 60-89  | 820,558                          | 474,752                        | 1,295,310                        |
|                   | 空舎期間 90-119 | 229,513                          | 52,395                         | 281,908                          |
|                   | 計           | 8,846,496                        | 2,802,372                      | 11,648,868                       |
| 奨励<br>金交<br>付額    | 令和2年度第1回    | 2,456,027,460                    | 1,022,801,788                  | 3,478,829,248                    |
|                   | 空舎期間 60-89  | 818,470,560                      | 387,837,468                    | 1,206,308,028                    |
|                   | 空舎期間 90-119 | 1,637,556,900                    | 634,964,320                    | 2,272,521,220                    |
|                   | 令和2年度第2回    | 268,712,604                      | 179,657,984                    | 448,370,588                      |
|                   | 空舎期間 60-89  | 172,317,144                      | 147,173,084                    | 319,490,228                      |
|                   | 空舎期間 90-119 | 96,395,460                       | 32,484,900                     | 128,880,360                      |
|                   | 計<br>(うち基金) | 2,724,740,064<br>(2,043,555,048) | 1,202,459,772<br>(901,844,829) | 3,927,199,836<br>(2,945,399,877) |
| 処理<br>加工<br>場数    | 令和2年度第1回    | —                                | —                              | 62                               |
|                   | 令和2年度第2回    | —                                | —                              | 35                               |
|                   | 計           | —                                | —                              | 97                               |
| 奨励<br>金交<br>付額    | 令和2年度第1回    | —                                | —                              | 473,366,460                      |
|                   | 令和2年度第2回    | —                                | —                              | 74,129,072                       |
|                   | 計<br>(うち基金) | —                                | —                              | 547,495,532<br>(410,621,649)     |
| 奨励金交付総額<br>(うち基金) |             |                                  |                                | 4,474,695,368<br>(3,356,021,526) |

\*暫定数値。

なお、令和2年度（第71回）と平成25年度（第64回）の定時総会議案事業報告において、参加生産者数と延べ数に誤りがあったので、以下のとおり修正する。

| 参加生産者 |           | 10万羽以上生産者 | 10万羽未満生産者 | 計     |
|-------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 正     | 平成30年度第2回 | 76        | 67        | 143   |
|       | 令和元年度     | 42        | 55        | 97    |
|       | 計         | (118)     | (122)     | (240) |
|       |           | 延 174     | 延 164     | 延 338 |
| 誤     | 平成30年度第2回 | 76        | 67        | 143   |
|       | 令和元年度     | 203       | 142       | 345   |
|       | 計         | (227)     | (169)     | (396) |
|       |           | 延 279     | 延 209     | 延 488 |

|                  |        |         |     |     |
|------------------|--------|---------|-----|-----|
| 平成 24 年度 事業参加生産者 | 大規模生産者 | 中小規模生産者 | 計   |     |
| 正                | 計      | 119     | 100 | 219 |
| 誤                | 計      | 119     | 99  | 218 |

ウ) 協力金の造成額、奨励金交付額等は、表 4 のとおり。

表 4 協力金の造成額・当期の増減額及び奨励金交付額

(単位：円)

| 区 分                      | 協力金           | 基金            | 奨励金交付額        |
|--------------------------|---------------|---------------|---------------|
| ① 前年度繰越額                 | 28,354,021    |               |               |
| ② 協力金造成額                 | 702,768,088   |               |               |
| ③ 奨励金交付額                 | 1,118,673,842 | 3,356,021,526 | 4,474,695,368 |
| ④ 繰入れ(積立金から<br>協力金へ)     | 393,000,000   |               |               |
| ⑤ 返還額(廃業等)               | 4,619,659     |               |               |
| ⑥ 次年度繰越額<br>(=①+②+④-③-⑤) | 828,608       |               |               |

(注) ④は業務方法書第 2 の 2 の(9)アの c の規定に基づくもの。

### ③鶏卵需給見通しの作成

検討委員会を令和 2 年 8 月 5 日及び令和 3 年 2 月 17 日に開催し、また、加入生産者に対するアンケート調査を令和 2 年 9～10 月に実施し、これらを踏まえ「鶏卵の需給見通し」を作成し、令和 2 年 9 月及び令和 3 年 3 月に加入生産者等に提供するとともに本協会ホームページに公表した。

### 国庫補助金(鶏卵需給見通しの作成)

(単位：円)

| 区 分    | 国庫補助金   |
|--------|---------|
| 年度内支出額 | 997,400 |

## (4) 家畜防疫互助基金支援事業(農畜産業振興機構補助事業)

本事業は、3 ヶ年度(平成 30 年度～令和 2 年度)を事業実施期間とし、第 7 期家畜防疫互助基金支援事業の最終年度として継続実施した。

### ① 家畜防疫互助事業

ア) 平成 30 年度に事業開始し、積立てを継続しているところである。

イ) 令和 2 年度は、冬季の高病原性鳥インフルエンザの大量発生により、当初の基金の不足が見込まれたことから、追加造成を行った。

ウ) 令和 2 年度の発生は、11 月以降であったことから令和 2 年度中の互助金の交付はなく、令和 3 年度の交付となる。

家畜防疫互助基金の管理状況（令和3年3月31日現在）

（単位：円）

| 区 分      | 生産者積立額        | 互助金交付額 | 残 額           |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 既存基金（7期） | 1,415,194,286 | 0      | 1,415,194,286 |

| 区 分      | 生産者積立額      | 互助金交付額 | 残 額         |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 追加造成（7期） | 588,687,754 | 0      | 588,687,754 |

注：互助金は、（独）農畜産業振興機構からの互助金交付額と同額の補助金と併せて交付。

（5）畜産物輸出支援関連

①令和2年度輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業

令和2年度輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業を日本畜産物輸出促進協議会から受託して、以下の業務を行った。

ア) 日本産畜産物の品質情報の多言語発信等

香港、台湾、シンガポールをターゲットとするマーケット構築に向け、香港をモデルケースとして、日本産鶏卵の品質情報等の多言語発信を実施した。

具体的には、日本産鶏卵の品質情報や保存・調理方法を市民に伝授する小冊子を作成し、日本の観光情報月刊誌の付録として広く配布した。更に、摂取量・栄養・生食可能性などの啓蒙動画を作成し、香港を中心に台湾・シンガポールでも広く閲覧されるSNSに投稿を実施した。

また、順次各国・地域における鶏卵統一マークの登録を行ってきており、今年度はマカオにおいて登録が完了した。

イ) セミナーの開催

香港の消費者に対するセミナー（学校の授業・料理教室）を実施するため、日本産鶏卵の品質情報や料理法の小冊子を作成したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講師を派遣できないことから、実際のセミナーは中止し、小冊子をスーパーなどで配布した。

②令和元年度外食産業と連携した畜産物の需要拡大対策事業

令和元年度外食産業と連携した畜産物の需要拡大対策事業を農林水産省から受託し、海外向けにサンドイッチ用厚焼き卵製品の開発を行う予定であったが、4度に渡り公募を行ったにもかかわらず、応募がなかったことから事業を廃止した。

## (6) 飼料米生産・利用促進事業

平成26年に農産物検査法に基づく登録検査機関として本協会が登録され、33名の農産物検査員を擁し検査活動を実施している。

### 在籍農産物検査員数

(人)

| H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 26    | 35    | 40    | 37    | 37    | 36   | 33   |

令和2年度は、15県197名の稲作生産者より検査請求があり、342件、約4,990トンにのぼる飼料米の検査が実施された（稲作生産者から受ける検査手数料：1円/kg、農産物検査員への支払手数料：0.7円/kg）。

## (7) 鶏卵消費拡大推進事業

鶏卵の消費拡大を目的とし、道府県養鶏協会により各地域で開催された講習会・イベント等に対する支援を行った。

33県養鶏協会 イベント、フェアへの参加及び講習会等  
約70回(約58,000名)

### 【トピックス】

青森・群馬・岡山・香川・宮崎・沖縄県養鶏協会

：テレビ・ラジオのCMや新聞広告掲載を実施

山形・茨城県養鶏協会：ホームページを活用したPRキャンペーンの実施

愛知県養鶏協会：大会・フェスタ・まつり・研修等、全15回において資料・鶏卵を配布

負担金等の管理状況（令和3年3月31日現在）

(単位：円)

| 受取負担金等     | 事業費        | 次年度繰越金    |
|------------|------------|-----------|
| 19,506,957 | 14,376,542 | 5,130,415 |

注：受取負担金等には、受取利息（14円）を含む。

## (8) 鳥インフルエンザ経営再建保険事業

<令和2年度保険内容>

合計保険料に対する保険金支払限度額について、令和元年度と同額。

1億円以上：10億円

6,000万円以上1億円未満：6億円

3,000万円以上6,000万円未満：4億円



令和2年度の保険加入件実態は下表のとおりである。

|       | 加入<br>件数 | 総羽数         | 総保険料<br>(円) | 保険金<br>支払件数 | 支払保険金<br>(円) |
|-------|----------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 令和2年度 | 363      | 79,774,600  | 155,071,070 | 2           | 95,924,610   |
| 令和3年度 | 522      | 104,947,000 | 206,285,840 | 0           | 0            |
| 増 減   | +159     | +25,172,400 | +51,214,570 | ▲2          | ▲95,924,610  |

※加入件数の増により、総羽数、総払込保険料は前年比増となった。

注1:保険金支払件数：内払保険金を集計

注2:今回から表側の年度の表し方を変更し、令和2年度は令和2年2月1日から令和3年1月31日、令和3年度は令和3年2月1日から令和4年1月31日までの期間のものとする

令和2年度冬季は、過去に例をみない18県52事例での高病原性鳥インフルエンザの大量発生となり、これらによる殺処分羽数は、農林水産省公表値で約987万羽（うち、採卵鶏904万羽）に及んだ。

#### 令和2年度冬季のA I 保険加入者の発生状況

|                 | 件数 | 飼養羽数   | 保険金額見通し |
|-----------------|----|--------|---------|
| 令和2年度           | 4件 | 65.6万羽 | 2.7億円   |
| 令和3年度(R3.2月～3月) | 6件 | 89.0万羽 | 3.3億円   |

上記のような高病原性鳥インフルエンザの多発状況を踏まえ、保険金支払早期化による経営再建の支援、並びに加入者間における公平な保険金支払いの両立を図るため、保険金上限額と期間を2分割することとした。

#### (9) 家きん経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構補助事業）

##### 令和2年度非常用電源の導入実績

|     | 生産者集団 | 経営体 | 台数 | 事業費       | 補助金       |
|-----|-------|-----|----|-----------|-----------|
| 導 入 | 10    | 34  | 48 | 2億7,570万円 | 1億2,530万円 |
| リース | 2     | 5   | 13 | 7,150万円   | 3,250万円   |
| 合 計 | 12    | 39  | 61 | 3億4,720万円 | 1億5,780万円 |

また、令和2年度に、令和2年度冬季の大雪ならびに令和3年福島県沖を震源とする地震での被害が追加され、22件の参加希望があった。

#### (10) 関連団体事務受託事業

##### ①鶏卵公正取引協議会

本協会は同協議会の団体会員として加入するとともに、同協議会事務局として、総会、理事会、会員証紙審査委員会の運営に参加した。

##### 【通常総会】

第11回 令和2年 6月23日 東京都 馬事畜産会館 会議室

【理事会】（いずれも書面開催）

- 第1回 令和2年 5月27日
- 第2回 令和2年 6月23日
- 第3回 令和2年 7月17日
- 第4回 令和3年 2月12日

【会員証紙審査委員会】（いずれも書面開催）

- 第1回 令和 2年 5月26日
- 第2回 令和 2年 7月17日
- 第3回 令和 2年 8月27日
- 第4回 令和 2年10月23日
- 第5回 令和 3年 1月14日
- 第6回 令和 3年 2月12日
- 第7回 令和 3年 2月25日

【公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン】

- 第1回 令和 2年11月25日～令和 2年12月25日
- 第2回 令和 3年 2月 1日～令和 3年 2月26日

②中央鶏卵規格取引協議会

鶏卵の規格取引を円滑に推進するため、鶏卵の生産及び流通関係団体（6団体）で構成されている中央鶏卵規格取引協議会の事務局を本協会が受託している。

今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年実施している「鶏卵規格取引研修会」及び「割卵検査」の開催ができなかった。

研修会中止に伴い、「卵重計量責任者」資格取得を希望される対象者に対し、通信研修会を実施し、9名が受講した。

③日本畜産物輸出促進協議会鶏卵輸出部会

鶏卵の輸出を促進するため、以下の活動を行った。

【通常総会】

- ・第6回 令和2年 6月30日 東京都 馬事畜産会館 会議室

【理事会】

- ・第1回 令和2年 11月16日 書面開催

【実施事業】

- ・令和2年度畜産物輸出産地緊急対策事業（農林水産省より受託）
- ・令和2年度残留物質等モニタリング検査支援事業（農林水産省より受託）

## 9. その他

### (1) 褒章の授与

道府県養鶏協会が行う鶏卵・鶏肉の品質改善共励会、畜産共進会、品評会、料理コンクール等で優秀な成績を修めた者に対して本会会長賞を授与した。

### (2) 関連団体等への協力

#### ①本協会役職員の、関連団体・団体等の開催する審議会等への派遣

|             |                                   |
|-------------|-----------------------------------|
| (公社) 中央畜産会  | 国際養鶏養豚総合展 (I P P S) 幹事            |
| (公社) 畜産技術協会 | 初生雛鑑別師養成・鑑別技術安定化及び新技術情報収集推進委員     |
|             | AWに配慮した家畜輸送等指針作成事業推進委員・指針普及事業推進委員 |
|             | 採卵鶏AW飼養管理指針検討委員会委員                |
|             | 全日本初生雛雌雄鑑別選手権大会審査員                |
| (一社) 日本食鳥協会 | 食鳥処理加工業技能評価委員                     |
| (一社) 日本養豚協会 | 米活用畜産物等全国展開事業に係る推進検討会             |

#### ②各種研究会への役職員の派遣

本来、本協会役職員を各県養鶏協会等が開催する研修会等に講師として派遣し、鶏卵、養鶏生産等に関する正しい知識の普及に努めるが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で研修会等が中止となった。

#### ③各種イベントにおける後援

各県養鶏協会等が開催するイベント等に後援した。

### (3) 常勤役職員の異動

(令和3年3月31日現在)

|     | 期 初 | 任 用 | 退 任 | 期 末 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 理 事 | 1   | 0   | 0   | 1   |
| 職 員 | 14  | 3   | 4   | 13  |
| 計   | 15  | 3   | 4   | 14  |